

2024 年 4 月 21 日

2024 年度「市民防災・減災活動公募助成」事業実施報告書

団体名 一般社団法人三陸まちづくり ART...

代表者・役職名 氏名 代表理事 前川一枝...

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

ひかりのこぼれ『いのちのかたりつぎ』事業

2. 団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

震災からの復興が進み、“まちびらき”が終わり、三陸沿岸は次のフェーズに移ろうとしています。新しくできた街を、市民の方、特に子どもたちの夢で彩りたい、という思いから、2017 年に任意団体、三陸まちづくりアート実行委員会として発足し、2021 年 2 月に一般社団法人三陸まちづくり ART として法人化したしました。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

東日本大震災から10年以上が経過し、記憶の風化が進んでいます。被災地域の教員や保護者からは、「子どもたちが震災を自分事として捉えられていない」「家庭では話題にしづらい」との声が寄せられています。本事業では、被災者の証言を聞き、感じたことを芸術で表現し伝える演劇ワークショップを通じて、子どもたちに震災を自分事として捉える機会を提供し、防災意識の向上と震災教訓を語り継ぐ次世代の担い手を育成することを目指しました。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

伝承交流施設 MEET 門脇の協力のもと、全 7 回のセッションを実施しました。子どもたちは、講師である俳優やダンサーとともに被災地を訪れ、被災者の証言に耳を傾け、被災した町内を複数回歩く中で、震災の出来事や教訓を体験的に学びました。そこから得た感想や心に浮かんだ情景をもとに、演劇や身体表現など多様な方法で「伝えたいこと」を創作しました。最終日には、子どもたち自身による成果発表公演を行い、プロの俳優による舞台公演とあわせて一般公開しました。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

本事業では、公募により集まった被災地域在住の子どもたち 13 名と共に、震災伝承施設での学習やまち歩きを通じて被災の実相に触れ、演劇や身体表現による「伝える」活動を行う全 7 回のワークショップを実施しました。最終日には成果発表公演を開催し、地域住民をはじめ多くの方にご来場いただきました。事業全体の参加者は延べ 152 名にのぼり、子どもたちは震災を「自分事」として捉え、防災や教訓の継承への関心を深めました。観客からは「地域の記憶を思い出した」「来年も見たい」との声が寄せられ、表現を通じて震災の学びを地域に伝える活動としての可能性が示されました。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

震災を語り継ぐワークショップの有効性は一定の手応えを得ましたが、今後は参加者の裾野を広げるとともに、継続的に運営できる体制を整えていくことが重要です。地域住民や町内会、震災伝承施設との連携も進みましたが、今後は三陸沿岸各地に活動を広げ、より多くの住民が主体的に関われる仕組みづくりを目指します。さらに、学校や企業との連携や、地域拠点となる施設での展開も視野に入れながら、地域に根ざした文化芸術活動として定着させていきたいと考えています。

7. 参考資料: プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等の現物またはコピー、活動状況の写真などを、“必ず”、別途、ご提供ください。

12月23日
10:00～申込開始!

小学生以上なら
どなたでも参加可能!

参加無料

うたって おどって あそんで つくろう!
みんなで 未来へつなぐ ものがたり



ひかりのことば

いのちの かがたりつづ ワークショップ



開催日時

2025
1/

19

26

2/

2

9

16

22

成果発表DAY
23

10:00～

13:00～16:00

- 1月19日 MEET門脇で語り部のお話を聞き、近くの震災遺構等を見学した後、集会所で感じたことをえがいたり、話し合ったりします。
- 1月26日
2月16日 歌、ダンス、お芝居などについて楽しく学びながら、成果発表で表現したいことをまとめていきます。
- 2月22日 リハーサルを行います。

会場

石巻市営門脇東復興住宅 集会所
震災伝承交流施設 MEET 門脇 (1/19のみ)

定員

30名

定員に達し次第締め切り

お問い合わせ

一般社団法人三陸まちづくりART
TEL 080-2818-4152
Mail art@sanrk.com

申込み方法

【募集期間】12月23日(月)～1月17日(金) 申先着順
QRコードよりお申し込みください。
※全日程に参加が理想ですが、難しい方はご相談ください。



【出演指導】



飯沼由和



山田由紀



三浦弘



渋谷裕子



渡辺悠生

【主催】一般社団法人三陸まちづくりART 【後援】宮城県 石巻市 石巻市教育委員会 東松島市 東松島市教育委員会 女川町 女川町教育委員会
【協力】公益社団法人 3.11 メモリアルネットワーク かどわき町内会 みんなのしるし合同会社
【助成】助成：令和6年度宮城県NPO等による心の復興支援事業 真知苑 市民防災・減災活動公募助成 森村啓明会

子どもたちと未来へつなぐ 震災のはなし、色とりどりの物語

子どもたちと歌・ダンス・お芝居のワークショップを重ね、東北に伝わる文化に触れながら「震災のこと」について考えました。東日本大震災から14年が経つ今、子どもたちが震災をいかに「かたりついていく」のか、ぜひ足を運んでご覧ください。

開催日時 2025年
2月23日 【開演】 13:30 開場
14:00~

会場 石巻市営門脇東復興住宅 集会所
(宮城県石巻市門脇町三丁目6-18)

出演 石巻ワークショップ参加者の皆さま
飯沼由和、大橋奈央、芝原弘、渋谷裕子、渡邊悠生

定員 **80名**

いのちのかたり
ついで

公演

要事前申込

観覧無料

お問い合わせ
一般社団法人三陸まちづくりART
TEL 080-2818-4152
Mail art@sanrk.com

観覧のお申し込みはこちらから

【お申込受付開始】

12/23 10:00~



【スタッフ】

原作／黒川陽子、矢戸優太郎、前川十之朗、鷺羽大介
演出・音楽／前川十之朗 振付／小山柚香、緒方祐香
舞台監督／菅原玄哉・わたなべひでお 音響／本儀拓
制作／川元一恵、前野沙緒里、都甲マリ子

子どもたちと未来へつなぐ 震災のはなし、色とりどりの物語

いのちの かたりつぎ

しかりのことば

公演

2月23日(日)14:00~16:00 13:30開場

門脇東復興住宅集会所



震災の記憶をつなぐ、子どもたちの表現

石巻圏に住む子どもたちが、俳優とともに震災を「自分ごと」として捉え、言葉や身体を通じて表現するワークショップを1月から約1か月にわたって実施してきました。

被災者の声に耳を傾け、門脇町内を歩き、実際に見て聞いて、感じたことを自分たちの言葉で紡ぎました。

この度、その集大成となる発表を行うとともに、プロの俳優による舞台公演も開催いたします。

この集会所で生まれた「子どもたちの言葉と表現」を、ぜひ地域の皆さまに見届けていただければ幸いです。

入場無料・申込不要 ですので、どうぞお気軽にお越しください。

【出演俳優】



飯沼由和



大橋俊夫



芝原弘



渋谷裕子



渡邊雅生